

令和6年度 第2回男女共同参画審議会会議録

日 時 令和6年11月11日(月)

午後2時～午後3時00分

場 所 神栖市役所 3階 301会議室

■出席者

委員：中村委員、伊藤委員、深山委員、伊勢田委員、三浦委員、瀬尾委員、菅谷委員、
原委員、南委員、大塚委員、中野委員（委員11名）
事務局：猿田課長、海老室長、安藤主事（3名）

■欠席者

深井委員、岸根委員

■傍聴者（定員5名）

0人

■配付資料

- ・神栖市男女共同参画推進事業者表彰実施要項
- ・表彰候補者の概要について
- ・表彰候補者の男女共同参画に係る取組状況について
- ・令和6年度 男女共同参画デジタルフォト作品の選考結果
- ・審議会等の女性登用状況
- ・令和5年度の取組に対する委員からの意見・質問及び回答
- ・ハートフルかみす v o l . 4 2

■会議内容

1 開 会

2 あいさつ

3 案件

（1）男女共同参画推進事業者被表彰者の選定について

（資料：神栖市男女共同参画推進事業者表彰実施要項、表彰候補者の概要について、
表彰候補者の男女共同参画に係る取組状況について）

大型重機（フォークリフト）のオペレーターとして女性が活躍しており、また女性社員の人員増加に伴い、中期的な視野で人材教育を行っている「中国木材株式会社 鹿島工場」について、今年度の男女共同参画推進表彰事業者に決定してよろしいかという諮問書が、市長代理と

して猿田課長から原会長へ手渡されました。

◆質疑応答・意見等

委員：中国木材さんは、表彰の対象項目の「（１）女性の能力活用や職域拡大のため、積極的な取組を行っている者」ということで、市からも説明があり、問題ないと思いますが、何年か前にこちらの工場で火事があったと思いますが、実際工場内の設備やありようは取材されたのでしょうか。

事務局：表彰対象者としての取材は、電話での確認にとどまっているのですが、今年度、小学生を対象にした工場見学を実施したいと考えておりまして、５月に市内の各事業所様に通知を出させていただいたところ、中国木材様もお手を挙げていただきました。火事などの影響もあり、実施するのは令和７年度の方が良いとの事でしたが、工場にて打合せをさせていただきました。その際に、令和７年１月に新しい事務所を設置し、女性のパウダールームや、今まで男女共用であった救護室を分けて整備するとのお話を伺うことができております。

委員：わかりました。男女共同参画の面もちろん審査していますが、やはり会社としてのありようも重要だと思いますので、質問させていただきました。

委員：今はどこの企業でも女性社員を受け入れている。会社制度とともにそういう流れが多くなっている。女性社員も、新しく入ってきた職員も、重機や物を動かす仕事はすぐに見て取れるので、面白さを感じられる。実際にそこで働く女性たちの気持ちはどうなのか。その企業ごとで変わるのかもしれませんが。そのところは把握されていますか。

事務局：今回は、会社の方でフォークリフトに関して女性を対象に募集をしていたわけではなくて、地元的女子高校生が、ぜひ大型のフォークリフトを操作してみたいということで、女性の方からの発信だったそうです。このことを受けて、会社側も男性の力仕事だとかそういった事ではなくて、女性からの声を受け入れようとのことで、採用を進めたという話を伺っております。

委員による審議の結果、「中国木材株式会社 鹿島工場」が今年度の神栖市男女共同参画推進事業者表彰の被表彰者として決定し、代表して原会長より答申をいただきました。

（２）男女共同参画デジタルフォト入賞作品の選考について

（資料：令和６年度 男女共同参画デジタルフォト作品の選考結果）

事務局より男女共同参画に関するデジタルフォト作品の選考について説明いたしました。

今年度は１７作品の応募があり、事前に各委員へ審査を依頼し、優れている作品を一人３作品選んで投票していただきました。

事前集計の結果から上位作品を選出し、審議会にて再度選考の上、最優秀賞１点、優秀賞２点、入賞２点を選出いたしました。

最優秀賞「2024年9月29日にカシマサッカースタジアムで開催されたJFAユニクロサッカーキッズに幼稚園の年少さんで参加しました。初めてサッカーの試合に参加しましたが、一生懸命ボールを追いかける可愛い姿に感動しました。」



優秀賞



「地元のピーマンを使って、小学生と波崎女性部の皆さんと一緒に調理実習をしました！」

優秀賞



「2歳になってパン作りに挑戦！お手伝いが大好きです！これからもたくさんお手伝いしてね！」

入賞



「保育園から帰ってきて、祖母とスコーンを作るのが日課になっています。最近、次は牛乳だねっ！次はバターだねっ！とレシピを覚えてきています。」

入賞



「ゲップがなかなか出ず挑戦中。パパも頑張っています。」

◆質疑応答・意見等

委員：デジタルフォト作品は全部で何点応募があったのでしょうか。

事務局：17点です。

委員：毎年同じ方と思われる応募が多いので、なかなか広まらないのかなと思います。前にもそのようなお話がありましたが、こういう形で継続していくのが良いのか、別の形があるのか、個人的に悩むところです。

委員：こういった写真の募集をかけると、こういった写真を撮るのが好きな方は必ず固定されてしまうと思います。私も地区で色々な行事があるので、デジタルフォトを募集していることをみなさんにお知らせし、写真撮れる方は応募してみてはいかがでしょうか、と話したことがありましたが、「もうそんなことやっている暇はないから、あなた撮ってよ」と言われてしまい、そういったことに興味がないんだと少しがっかりしました。やはりこういった募集をかけると、固定されるのは致し方ないことなのかなという感じはします。

事務局：ありがとうございます。今ご指摘いただきましたように、以前の審議会で、応募作品が少ないことについて、学校などに広報をもっとしたら良いのではないかというお話をいただきまして、今回は担当の方で市内小・中学校、高校にまで、期間中にチラシ・ポスターの配布・掲示をお願いしたところでございます。今ご指摘がありましたように、それでもなお応募作品が少なかったことに関しましては、私共の方でも何か他に違った啓発活動があるのかどうかということも含めて、今後検討してまいりたいと思っておりますので、引き続きよろしく願いいたします。

(3) 審議会等の女性登用状況について

(資料：審議会等の女性登用状況)

事務局より、神栖市における審議会等の女性の登用状況について、配布資料を基に説明いたしました。

(4) 実施状況報告書に関する質問の回答について

(資料：令和5年度の取組に対する委員からの意見・質問及び回答)

第1回会議でご報告した「令和5年度画実施状況報告書」に関する、委員のみなさまからのご意見・ご質問に対して、市担当課より回答があったものをご報告いたしました。

◆質疑応答・意見等

委員：私は企業側の代表として来ておりますので、中国木材様のように女性が活躍できる職場というものを構築していかなければならないと思っております。今回この会に参加して、こういうご意見や紹介をいただいて、大変参考になりました。ありがとうございました。

委員：最近気になっているのが、男女共同参画とは関係があるかわかりませんが、資料に、「空家等対策協議会」や「防災会議」と書いてあるので。うちは田んぼの真ん中に家があるのですが、今街灯が点滅して、市の方へ区長さんから要望を出していただきましたが、次の日に点滅が気になるからと業者に言って切ってもらっ

たら、今度は真っ暗になってしまい、懐中電灯を持って歩くようになってしまいました。電気はいつ点くんのですか？という話をしていたら、今LEDの点滅を新しい機械に変えるということで、手間がかかるので、だいたい3週間くらい待っていたかかないと電気が点かないという区長さんからの話でした。今までだったら普通の電気は、すぐに業者さんが来て取り換えてくれて、すぐに明るくなっていたんですが、ご近所で物置に泥棒が入っていることもあり、今はとてもピリピリしている状況です。今ここで話すことではないことかもしれませんが、「防犯」ということで、お話させていただきました。

委員：今現在使用しているものは故障が発生しやすいものなので、すぐには直らないみたいですね。今までの同じ機種は使えないので、それで余計に時間がかかっているのだと思います。

委員：今お知らせは回覧板で回していますが、機械ごと取り替えているとの事で、近所でも何件もあって、こっちは取り替えたのに、こっちはまだ取り替えていないなど、すごいことになっていて。とても困っています。

事務局：ありがとうございます。市民協働課では困りごと相談という事業も行っておりまして、そういったお問合せもあります。以前は「すぐにやってもらって良かったよ」というお声も聞こえてきたのですが、市内全域で先ほどのような設備自体を替えるということが発生しているようでございますので、こういったご意見をいただいたことは担当課の方に申し伝えたいと思います。

委員：素朴な疑問ですが、女性の登用状況と言うことで、40%以上を目標にという説明がありましたが、数字は大事なのですが、説得力もありますし。数字は無視できませんが、数字ありきではなくて、実態としてちゃんとその職種に対応できる能力が本当に培われてこなければダメだと思います。特に行政の場合は、一定の業務を遂行するための能力の開発は必要なことだと思いますので、女性管理職の登用の前に管理職になるための準備が大事になってくるのかと思います。その結果として数字がついてくるのではないかと考えております。あまり数字にとらわれすぎない対応があってもよいのかと感じております。

委員：中国木材さんの働きやすい環境整備について、女性専用のパウダールームや救護室がすごく良いと思いました。私の会社にもパウダールームが設置してもらえたら、もっと女性社員も喜ぶし、女性が結婚し出産するにあたって、育児休暇を十分とって、また会社に戻ってきてくれた社員もいて、本当にありがたいと思っています。日本全体の出生率が低下しているので、そういうところは、日本全体社会にとって重視していけたらと思っています。このまま日本が、人口が少なくなったら、日本は消滅してしまうので、できれば子どもを産んで、出生率を少しでも上げることが、日本全体の課題だと思います。

委員：女性委員の登用率が少ないということですが、世の中には男性と女性半々ずつですから、例えば、「子ども・子育て会議」であったり、「男女共同参画審議会」であったりは、女性の登用率が高いですね。これは女性の方が、問題に対して

引き寄せられるのだと思います。審議会の内容を、逆に女性向けのものを増やしたら良いのではないかという気がしました。

委員：女性向けの審議会ですが、私の意見では、子育てや介護の面で目標に達しているところが多いと思います。また、子ども食堂を2か所開いているそうですが、私は更生保護女性会にも入っており、県や全国的には、子ども食堂を更生保護で支援しているところが結構あるのです。もし神栖市でも更生保護で支援できるところがあれば、教えてもらいたいと思います。また後で調べておきます。

委員：子ども食堂に関して聞いた話を思い出しました。これは制度以前の問題かもしれませんが、例えば、その食堂に行っているというだけで、”食べていけない家の子だ”とか”母子家庭だ、片親家庭だ”など、何か問題があるという目でみられるのが嫌で食べに行くことができない。だから、誰でも入れるような、ある程度最低限の、地域のコミュニティにも繋がるような方向性が見えてきた方がより良い気がします。食べることは大事です。そう思いました。

委員：神栖市は、この男女共同参画審議会があるので、それはすごいなと何年か前に思って、それで私ずっとやらせてもらっているのですが、こういう会議をやめずに、続けていくことが大事だと思います。さっきあった女性委員の登用率で、農業や、空き家分野について、充て職だから仕方ないという話に毎回なっていますが、でもやはり、女性でも向いている人や意欲のある人がやればいいので、規則も変わっていけば良いなと思います。

委員：先ほど出生率の話が出ましたが、自分が前に勤めていた会社でも、結婚しない男性がすごく多かったのです。自分が結婚しなかった後、親の面倒は誰が見るのか。自分が年を取って会社を引退したら、自分が面倒を見なければならない。その様な状況の人が結構いました。結婚は人それぞれの考え方なのでしょうが、とにかく結婚しない男性・女性が増えています。その原因は一体何なのかを考えない限りは、出生率は上がっていかないのではないかと思います。韓国は日本よりも少子高齢化が進んでおり、中国も一人っ子政策をやめたが、時すでに遅しで、何億という方が高齢者となっている。これは日本だけでなく、世界的な状況であると認識し、考えていく必要があると思います。あと、先月末に国連の機関から、夫婦別姓の話で、日本が指摘されました。これは4回目なのです。日本政府は、「検討します」ということばかり言って、がちが明きません。今現在法廷でも問題になっていることがあって、最近ニュースにもなったのですが、それって一般の国民があまり理解できないのか、あまり関心がないことなのかもしれません。だからこそそれが解決されないのです、世界各国から「ちょっと日本おかしいよ」という指摘があるのだと思います。でも逆に言ったら、日本古来の考え方ですね。そうやってきたから今まで別に不便はないわけで、「そういうのは受け付けません」と言ってしまうえば良いのですが、そういうわけにはいきませんね。やはり欧米の考え方・軌道に日本は乗っかっているのです、ある程度そこには従わなければならない、仕方ない事です。こういったこともすべて、日本国民の意識にかかって

いるのではないかと思いますのですが、そういった夫婦別姓というのは、市役所職員はどうなのでしょう。世の中には、仕事上では旧姓を名乗っているという方もいますね。旧姓の使用を採用すべきか、どうなのかわかりませんが、市役所でもその様な話が出ることはありませんか。

事務局：旧姓の使用について、担当課ではないので具体的には申し上げられませんが、日本国内はまだ法律上は夫婦同姓ということになっていますので、そちらに則って行っていると思います。

委員：法律を変えなさいということを指摘されているのですが、日本は法律を変えないのです。これからどのような方向に進むのかわかりませんが、結局国が管理しにくくなるから変えたくないだけではないかと思うのです。でも一旦切り替えてしまえば波に乗ってくるので、どこかで切り替える必要はあるのかと思います。

委員：男女共同参画推進事業者表彰についてですが、委員の方からも意見がありました。が、非常に少ない状況がここ数年続いていると思います。今回西部地区の中国木材さんだったのですが、波崎、東部と合わせますとかなりの事業者数がある中で、男女共同参画というのは各社それぞれ取り組んでいると思います。ただこの候補という形で上がってこないだけだと思いますので、私の方で東部地区からも来年以降少しでも協力できるように、募集のほうかけていきたいと思いますので引き続きよろしくお願いいたします。

会長：さきほど委員さんからも夫婦別姓についてお話がありましたが、農林水産省の関係の方で、その方は結婚しても仕事上はずっと旧姓を使用して、現在は富山県の副知事になりました。手紙などの郵便物も旧姓で届くんです。これは郵便局にも届け出ているのだと思いますが。戸籍上は結婚して姓が変わりましたが、仕事上はずっと旧姓を使用しています。行政の中でその方が名前を呼びやすいとか覚えやすいとかがあるみたいです。このように女性でも旧姓使用をできる時代になっているので、少しは変わっていくのではないかと考えているところであります。また来年も審議会がありますので、デジタルフォトなど色々な面でも男女共同参画をどのように進めていくのか、来年は市が合併して20周年になります。ですので、もしかしたら昔のように推進大会で壇上で表彰などやる可能性はありますか。作品の選考など催しもロビーとかでボードに貼るなどして、大掛かりでできればと思いますので、その時には皆様にご協力いただきたいと思いますので、ぜひご意見をよろしくお願いいたします。

4 その他

- ・令和5年度神栖市男女共同参画実施状況報告について

事務局から、第1回男女共同参画審議会開催時に配布した令和5年度男女共同参画実施状況報告書について、今後市のホームページ等で公開することを報告いたしました。

5 閉会

— 午後3時00分終了 —